

# 日本共産党 姫路市会議員団

市会報告 2019年 第2回定例会

議員団控室 姫路市安田4-1 TEL 221-2046 FAX 284-5890

メール info@jcp-himeji.com

共産党姫路 検索



谷川まゆみ 検索 ブログ



森ゆき子 検索 ブログ



苦瓜かずしげ 検索 ブログ



村原もりやす 検索 ブログ

6月議会の質問から

## 子育てしやすいまちづくりを

### 「姫路市子どもの生活実態調査」 結果を施策に反映を

谷川:安倍政権のもとで広がる貧困と格差で、子どもたちの生活が脅かされており、私たち議員団としても、子どもの生活実態調査を求めてきました。姫路市では、昨年の10月3日から2週間、小学校19校の5年生と中学校13校の2年生の児童・生徒とその保護者を対象にアンケート調査が行われたので、以下2点について質問しました。①この調査結果をどう受けとめているのか。②今後どのように施策に反映させていくのか。

答弁:①保護者向け調査では、世帯の健康状態、生活・経済状況、子育てについての心配や悩みなどの項目において、また、子ども向け調査では、学校の授業の理解度や自分の気持ちなどの項目において、貧困世帯とそれ以外の世帯の間に特徴的な違いが認められた。家庭環境や経済状況が子どもの健全な育成に大きく影響しており、課題への対応が必要と認識した。

②子どもの貧困に係るワーキンググループにおいて、調査結果を踏まえた子どもの貧困対策に関する施策の方向性について、検討を進めている。今年度策定する第2期子ども・子育て支援事業計画に反映させていきたい。

### 妊娠期から 切れ目のない子育て支援を



谷川:乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)は、生後4カ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、養育環境等の把握や助言を行っています。この間の訪問実績はおおむね増加傾向にあり、平成29年度は98.0%まで上がっていました。しかし、昨年度は大きく落ち込んでいます。その要因と今後の対策について質しました。

答弁:訪問実績が下がった要因は、対象者から訪問を辞退されたことなどで、今後は趣旨の丁寧な説明と訪問員の増員により、体制を強化していく。

谷川:妊婦健康診査について、本市の助成額の上限は9万3,500円で、国・県いずれの平均助成額をも下回っており、本年2月議会でも拡充を求めたところでした。その時の答弁は、「現時点での増額は考えていない」というものでした。しかし、5月に開催された子ども・子育て会議では、「支援拡充に向け検討」とあり、今後の方針について質しました。

答弁:今年度、医療機関の妊婦健康診査費の実態調査を行い、必要に応じて今後の増額について検討する。

### 公費による当選議員への祝電は**廃止**になりました!!

谷川:去る4月21日投開票で行われた市議会議員選挙において、日本共産党議員団を含む7人の議員に対して、26日に石見市長名で遅れて祝電が届きました。また、4年前の選挙では、日本共産党議員団の3名には祝電は、送付されませんでした。公費で当選議員に祝電を送るのであれば、税の公平性の観点から全当選議員に送るべきです。また、中核市57市中、41市では公費による祝電は送付されていません。行財政改革の観点からも、公費による祝電は廃止するべきです。

答弁:当選された市会議員の方々への公費による祝電は、行財政改革の観点を踏まえ、以後廃止したいと考えている。



谷川まゆみ議員



### 教科書法定展示会の視察



教科書法定展示会を視察する議員団

今年は、2020年度から小学校で使用される教科書用図書の採択が行われます。そのための法定展示会が6月14日から7月2日まで、総合教育センターにおいて開催されました。小学校1年生から道徳の教科書や5・6年生の英語の教科書も展示されていました。全体的にカラフルでイラストや写真などが多く使われていましたが、重さも気になる場所でした。



### 姫路市立スケートボードパークが 手柄山中央公園へ移転・整備・拡充されました



手柄山中央公園スケートボードパーク

若者やスケートボーダーの皆さんと一緒に要望し、姫路駅イベントゾーンに設営されたスケートパークは、平成25年度末、利用休止に。平成28年9月から一部暫定的な利用のみ再開し、再整備を望む声があがっていましたが、手柄山中央公園の整備にあわせて移転整備され、屋根つき休憩所と照明6基が併設されたスケートボードパークとして4月1日に利用開始しています。若者の皆さん、多いに利用して下さい。

## 市南西部地域の医療保証と基幹病院医師の確保を

**苦瓜:**市の地域医療政策について、4点質問しました。①2022年度上期の新県立病院開院に伴う製鉄記念広畑病院の閉院後にツカザキ病院が7診療科、100床で開設されますが、現在の計画では市南西部地域の医療提供体制が大きく後退をします。住民説明会で県の「診療科目をより一層充実させる」や、市の「最大限の協力、支援を行う」とした議会答弁に照らして市南西部の医療保証について明確な答弁を。②今年3月に国立病院機構姫路医療センターの消化器外科において、医師の大量退職という事態が起きました。市内基幹病院の医師確保に市としてどう責任を果たすのか。③市の3次救急を担っている広畑病院の姫路救命救急センターも救急医の減少で危機が続いています。市はセンターの運営経費の補填を行っていますが、医師確保にも踏み込んだ責任を果たすべきではないか。④他の市町で医療計画を策定しているところも多くあるな

か、人口53万人の中核市でありながら市民病院のない本市として、早急に医療計画を確定すべきではないか。

**答弁:**①網干のツカザキ病院の病院施設を拡充し機能強化を図るとともに、広畑の後継病院の開設時期を繰り上げ、両病院の一体的運用により、南西部地域を含む広域を網羅する救急機能を担う。②臨床研修医奨励金制度、医学生向け就職説明会への姫路市ブースでの合同出展など、市と基幹病院が一丸となり医師確保に取り組む。③医師確保の支援を進め、地域医療連携推進法人制度を活用して県立病院から広畑病院に医師派遣を行っている。④医療介護総合確保法に基づく市町村計画は、今後医療介護施策の展開を踏まえ調査研究する。



苦瓜かずしげ議員

## 住民の足としての公共交通網計画を デマンド型乗合タクシー社会実験の評価は

**苦瓜:**姫路市に今後取り組みを強めてもらいたい施策の上位に、マイカーに頼らず買い物や通院などに困らない住民の足としての公共交通網構築があがっています。市は、2015年7月策定のコミュニティバス等地域公共交通導入のガイドラインに基づいて、市内に10カ所ある公共交通空白・不便地域の自治会等にその目的・趣旨の説明を重ねた結果、今年1月から3月にかけて、夢前町前之庄地域、花田町高木地域で「デマンド型乗合タクシー」の社会実験を行いました。これらを受け、次の2点質問しました。

①この社会実験の評価はどうか。②福祉行政と連携して

公共交通網計画を確立すること。

**答弁:**①社会実験の目標は、1便当たりの平均乗車人員1.3人以上、利用者負担と公的負担の割合は1対2以内とされていた。前之庄地域では平均乗車人員8.4人、経費負担割合1対0.65、高木地域は2.1人、1対0.99といずれも目標を達成したと評価している。今後、アンケートなどを実施し、地域の実情にあった運行計画を立案、本格運行に向けて進める。②福祉の関係部局と連携をし、高齢者や交通弱者の移動支援施策と連携のとれた持続可能な市域公共交通ネットワークの構築に取り組む。



### 初めての経済観光委員会に出席して

村原もりやす議員

私、村原もりやすは皆様のご支援で市議会へと送り出して頂きました。6月3日より25日まで定例会に臨み、13日には初めて経済観光委員会に出席しました。

環境局の産業廃棄物処理の問題では、2018年1月31日が期限の宮ヶ谷最終処分場の改善命令が、期限と撤去が守られておらず、その後の対応について尋ねました。答弁は、「谷川議員の質問以降は一切行われていない、引き続き指導をしていく」とのことで、

全く進展していませんでした。そのため、早急な対応を求めました。

また、西御着の産廃中間処分場の件でも、事業主のグローバル工業への立ち入り検査の回数を増やし付近住民への現状説明を行ってほしいとの質問に対して、「6月より受入・搬出の総量報告を行わせ貯蔵が増えないよう指導を行う」との答弁を得ました。

これからも市民の安全・安心のため頑張り、皆さんの声を議会へ届けていきます。

担当委員会が決まりました

力を合わせ頑張ります



団長

谷川まゆみ

● 文教・子育て委員会



幹事長

森ゆき子

● 総務委員会  
● 姫路福崎斎苑施設事務組合議員



団員

苦瓜かずしげ

● 厚生委員会  
● 議会運営委員会



団員

村原もりやす

● 経済観光委員会